

質問事項

- ◆災害弱者の個別避難計画
- ◆血液疾患支援
- ◆コロナ禍における行政のデジタル化推進

# 辻 達広

つじ たつひろ 議員

## 災害弱者個別避難計画の早期策定を



質問事項

- ◆ワクチンの接種
- ◆よりアクセスしやすい投票制度・選挙制度の確立
- ◆市民のみなさんへの情報の公開・情報提供・広報

# 加藤 裕太

かとう ゆうた 議員

## ワクチン接種のさらなる迅速化を



**問** 接種を希望する高齢者及び市民全体への接種完了はいつ頃を見込むか。

**答** 高齢者の接種は、7月末までに目標接種率である80%が接種できる体制を確保し、集団接種体制の拡充に取り組んでいます。64歳以下の接種は、8月上旬から基礎疾患のある方から接種を開始し、8月中旬からそれ以外の方の接種も並行して行います。全体の接種が完了するのは、11月を見込んでいます。

**問** キャンセル等で余ったワクチンを無駄にしないために、接種基準を決めておき、例えば人が集まる学校や幼稚園、保育所等の方々に優先的に接種していく等、検討が必要。基準等は定められているか。

**答** 個別接種が主体の接種体制のため、各医療機関においてキャンセル対応要員を確保されるよう要請しています。現在は、医療従事者、接種券を有する者といった国の優先順位に則った接種基準を具体的に定めています。

**問** 接種後の副反応疑いの報告は何件あるか。

**答** 市内の医療機関から国への報告はありません。

**問** 香取市の災害時における災害弱者の個別避難計画策定状況は。

**答** 平成26年10月に香取市避難行動要支援者避難支援計画を策定し、避難行動要支援者名簿の整備、個別避難計画の作成を進めています。現在は、香取市見守りネットワーク事業利用者の作成が完了しており、今後は、避難行動要支援者名簿に記載されている要支援者について、本人の同意を得た上で計画の作成を進めます。

**問** 個別計画が進んでいない原因と今後の対応・対策は。

**答** 避難支援を要する者の把握に漏れが出ないようにと、幅広く対象を捉えた結果、名簿登録者数が多くなってしまったことや、個別避難計画の作成に必要な本人の同意を得ることが進んでいないことなどが要因であると考えます。今後も、民生委員・児童委員などの協力のもと名簿登録者の実態把握を進め、優先度が高いと判断される人について、計画の作成に取り組みます。

**問** 「骨髄バンク・ドナー助成制度」の導入推進を

**問** 香取市において骨髄バンク・ドナー助成制度をどのように評価しているのか。

**答** 骨髄バンク・ドナー助成制度は、命を救うための大変重要な制度であり、ドナー本人はもとより家族や職場などの理解が不可欠です。ドナー登録を決断される方に敬意を表し、救



新型コロナウイルスワクチン集団接種会場

**問** 今後、対応時間拡大や、土日接種等の検討が必要と考えるが、検討状況は。

**答** 集団接種においては、日曜日の実施も設定しており、土日曜日に接種を実施している個別医療機関もあります。今後、接種機会の拡充に向けて香取都市医師会と調整を進めます。

**投票の機会・立候補の機会の確保を**

**問** 選挙の投票所が遠い地域の方々のために移動期日前投票所を設置すべきと考えるが、見解は。

**答** 選挙管理委員会では、移動期日前投票所について検討を重ねてきたが、二重投票を防止するためのオンライン構築、情報セキュリティの確保、対象地域選定などの課題があり、公平性の観点から実施には至っていません。今後、先進自治体の実施状況を注視し調査研究を進めます。

**より便利になる情報発信を**

**問** 市が保有する住民情報を活用し、行政から情報を能動的に届けるプッシュ型の通知等を導入すべきと考えるが、見解は。

**答** 必要な情報を確実に届けるという観点から、プッシュ型の情報発信については、方針の検討や対象情報の見極めなどを含め、その活用と導入を検討していきたいと考えます。

**問** 県内49市町村が制定している骨髄バンク・ドナー助成制度を香取市も創設できないか。

**答** 骨髄移植における助成金制度の導入は必要であると認識しています。他の自治体の制度導入状況を鑑み、支援の事業化に向け実現できよう進めます。

**コロナ禍における行政のデジタル化推進加速を**

**問** マイナンバーカードの普及状況と普及促進のための方策は。

**答** 令和3年5月1日現在の交付枚数は1万9114枚です。今後は、マイナンバーカードの施策に係る国の動向を注視し、広報かとり・市ホームページを活用しながら、マイナンバーカードの利便性をPRすることにより普及促進に努めます。

**問** ホームページは市の顔の1つであり、さらに工夫すれば、見やすく、そして見たいと思えるものになるかと思うが、見解は。

**答** 令和2年度にトップページの一部改修を行い、その後、重要情報の即時周知に努めています。また、幅広い年齢層の利用者を想定し、視覚的に見やすいものに改善するなど、分かりやすく利便性を兼ねた内容の充実に取り組めます。